

尾道 日本遺産のまち



日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、文化、伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。尾道市は全国最多の3つのストーリーが認定されています。

箱庭的都市

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

北前船

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

村上海賊

“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島
～よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶～

絵のまち尾道四季展

おすすめポイント

展示している入賞作のうち購入できるものもあり、絵画愛好家にも注目されるアートイベントとなっています。会期中は市内商店街をはじめとする各所に作品が展示されるため、町中がまるで美術館の様相を呈し、描く人、鑑賞する人、旅する人、みんなが楽しめる展覧会です。



絵のまち尾道四季展

隔年で開催

おすすめポイント

全国の高校生が尾道へ集い、尾道を観て、尾道の息遣いを感じながら、高校生の今だから描けた四季折々の美しい情景や風物。そんな多くの瑞々しい作品と出会う展覧会です。



高校生絵のまち尾道四季展

尾道観光協会



広島県尾道市東御所町 1-20 JB 本四高速尾道ビル 1F
電話 0848-36-5495 FAX 0848-22-2201

因島観光協会



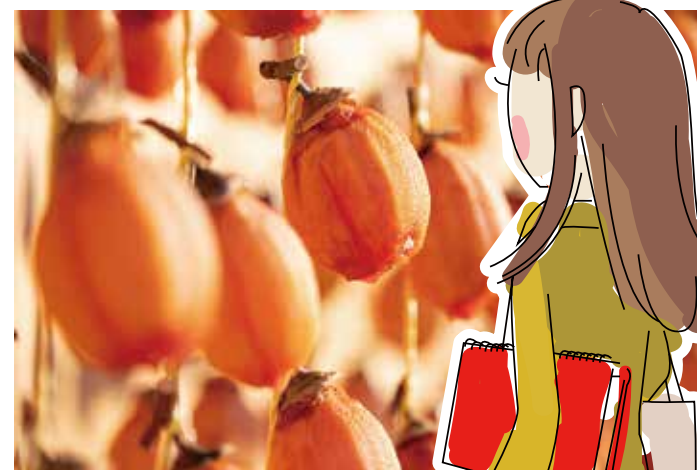
広島県尾道市因島土生町 1899-31
電話 0845-26-6111 FAX 0845-26-6112

尾道市では、一般の部の「絵のまち尾道四季展」と、高校生の部の「高校生絵のまち尾道四季展」を毎年交互に開催しています。テーマは「尾道」。しまなみ海道に浮かぶ小さな島々のように、小さくてもきらりと光る、美しい風光や街並み、生活や風俗を描いてご応募ください。

問合せ先 広島県尾道市西土堂町 17-19 尾道市立美術館
電話 0848-23-2281 FAX 0848-20-1682

絵になるまち、 尾道

歴史あるレトロな町並みと、宝石のような多島美が旅心をくすぐる



↙ 尾道水道を見下ろす（市街地）
レモンの島（瀬戸田）
潮が引くと見ることができる「鼻のお地藏さん」（因島）
干し柿の里（御調）

 尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682





【瀬戸田のレモン】

「天皇杯」にも選ばれたレモンの島では秋～冬にかけてレモンや柑橘が鈴なりに、空や海に映える景色を見ることができます。5月の花の季節もおすすめ。



【せとだサンセットビーチ】

瀬戸内海の夕日を満喫できるしまなみ海道にある海水浴場です。



【名荷神楽】

室町時代に起こった疫病や干ばつを鎮めるため、島民が神楽を奉納したことに始まりました。四月の第1日曜日に名荷神社にて公開されます。



【せとだ観月会】

虫の声と秋の風が心地よく感じられ、月が美しく見られる時期に、瀬戸の海に浮かぶ彫刻の前で様々な演奏や合唱が披露されます。たくさんの方が訪れ、賑わいます。



【未来心の丘】

現代美術の大理石庭園。まるで別世界に迷い込んだかのような風景画ひろがります。



【向上寺】

室町時代初期に建立された向上寺では、国宝に指定された三重塔と、貴重な広島重要文化財の梵鐘を見ることができます。



第15回絵のまち尾道四季展 秀作 松原紀子
「カフェ・クオーレ (未来心の丘)」

市街地だけではなく、尾道市内にはたくさんの魅力的な風景があります。定番のスケッチポイントから、穴場の風景まで見どころを少しだけ紹介します。あなただけの尾道を見つけてください。



第17回絵のまち尾道
「向島大橋と大浜崎灯台と」



【因島水軍まつり】

村上海賊ゆかりの因島で行われる夏祭り。水軍跳楽舞、大松明の練りまわしや、村上海軍が伝令船として使用した木造船「小早（こはや）」によるレースが行われます。

【高見山の夕日】

高見山は夕日のスポットとして人気です。頂上まで車で上ることができるので、時間を気にせず沈む夕日を楽しむことができます。



【白滝山 五百羅漢】

江戸時代に作られた石仏群は約七百体。その中に、自分に似た像があると言われていました。五百羅漢の奥には展望台があり、三百六十度広がる景色を満喫できます。



日本遺産に認定

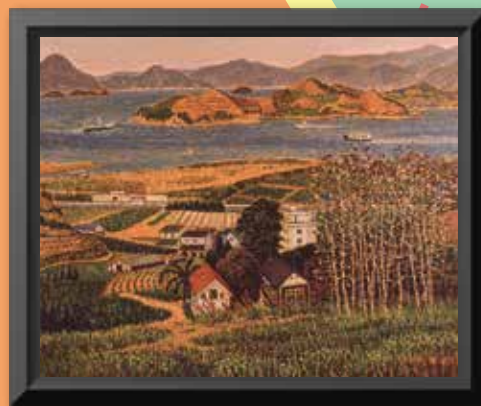
村上海賊

戦国時代、日本最大の海賊と言われた「村上海賊」"Murakami KAZOKU"。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、中世の瀬戸内海を支配した村上海賊の世界を体感できます。



【除虫菊ばたけ】

かつて蚊取り線香等の原料として栽培された除虫菊は、5月には島を真っ白にうめつくしていました。現在では鑑賞用として島内で栽培され、広く島民に愛されています。



第1回絵のまち尾道四季展 金賞 山田嘉一郎「因島の秋 (重井)」

【因島大橋 (向島⇄因島)】

1983年に供用開始された吊り橋で全長1,270m。この橋は上下二階建ての構造で、上層階には自動車専用道、下層階に原付・自転車道と歩道が配置となっているのが特徴。



どこも満載

なるまち 尾道

のマークは「日本遺産構成文化財」であることを表しています。



四季展 金賞 北口久人
オノミチキサンゴと海の幸



第12回高校生絵のまち尾道四季展 尾道賞 堀込結人「橋と風景」

【ベッチャー祭り】
ベタ・ソバ・シヨッキの三つの鬼の面を付けた氏子が子供たちを追いまわし、さらや祝棒などの棒で頭を叩いたり、突いたりされると病氣平癒のほか、子宝に恵まれたり頭が良くなることされています。



日本遺産に認定

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
尾道三山と島々に囲まれた尾道は、尾道水道の恵みによって繁栄しました。桜の名所、千光寺公園の展望台からは箱庭のような風景を一望できます。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる景観も見どころ。

日本遺産に認定

北前船
江戸時代や明治時代、北海道・東北・北陸と西日本を結んだ西廻り航路は経済の大動脈であり、この航路を利用した商船を北前船と呼びました。北前船の寄港地として繁栄した瀬戸内海最大級の港町の風情を街中で見ることができます。



第8回高校生絵のまち尾道四季展 尾道賞 中村桃子「ロープウェイで行こう」

【千光寺山ロープウェイ】

山麓駅から「千光寺公園」まで3分間。車窓からは箱庭のような尾道の街並みを楽しむことができます。



【浜問屋】

北前船寄港地の歴史を伝える浜問屋の海産物の初市は大盛り上がり。



【浄土寺の境内】

616年、聖徳太子の創建と伝えられています。「本堂」「多宝塔」は国宝、「山門」「阿弥陀堂」は国重文、境内一帯は国宝に指定されています

【里山】

尾道市北部の御調地区は、四季折々の田園風景が広がります。春には早苗田、冬には雪景色と、いつ訪れても違った魅力と自然がいっぱいこの場所は、きつと絵心を刺激します。



【高見山から】

標高283mの高見山からは、向島、尾道の風景を一望できます。



【フェリー】

尾道～向島をつなぐフェリー。片道5分の船旅をお楽しみください。



第16回絵のまち尾道四季展 秀作 大木孝子「串柿の里・御調」

【干し柿の里】

御調町は柿の名産地。晩秋の里山を彩る干し柿のカーテンは圧巻。



【みあがりおどり】

広島県無形民俗文化財。夏まつりに併せ、町内各地域で豊作を願い踊ります。



【御調川沿いの彼岸花】

御調川のほとりは、秋色に色づきます。

